



高校バレー界で輝きを放つ 若きアスリート

山口珠李さん(樋上・17歳)

今年1月に開催された全日本バレーボール高等学校選手権大会(通称「春高バレー」)で優勝し、日本一に輝いた下北沢成徳高等学校。今月は、このチームの主力メンバーとして活躍した山口珠李さんを紹介します。

父も母もバレーボール選手というバレー一家で生まれ育った山口さんは、8歳のときに熊谷むさしバレーボールスポーツ少年団に入団しました。「1点をもぎ取るために、みんなで一つのボールを必死につなぐところが面白い」とすっかり夢中になってしまったそうです。そして、いつしか本気で競技に向き合うようになり、さらなる高みを目指して鷺宮東中学校に入学しました。2年生になるとミドルブロッカーとして頭角を現し、関東大会に出場するなどチームに欠かすことができない存在に。3年生のときには埼玉県選抜のメンバーにも選出され、JOCジュニアオリンピックカップで同世代のトップ選手たちと互角に渡り合えるほど、成長を遂



げていったのでした。

中学卒業後の進路を決める際、山口さんは王子実践や共栄学園といった全国大会出場の常連校から誘いを受けたそうです。そんな中選んだのが、春高バレー3度の優勝を誇る名門下北沢成徳高校でした。「この学校で日本一になりたい」。一心不乱に毎日厳しいトレーニングに励んだことでパワーが加わり、得意とするブロッカーの技術が劇的に向上。秋から始まる春高バレーの予選から1年生ながらコートに立ち続け、その後は全日本女子ユースのメンバーにも選ばれるなど、日本バレー界にとっても活躍が期待される選手になっていきました。

前回の春高バレーではベスト8で敗退し、今大会に並々ならぬ思いで臨んだ山口さん。「絶対に優勝するんだ」と気持ちを全面に出し、相手エースが放ったスパイクを渾身のブロッカーで何度も跳ね返したそうです。全6試合を通じてサーブ、スパイク、ブロッカーにと得点を重ね、チームはついに全国約6千400校の頂点に。山口さんは「チームの優勝に自分が貢献できて、本当にうれしかった」と笑顔を見せます。

最上級生として4月からチームをけん引する立場になった山口さんは「積極的に声を掛けて、まとまりあるチームにしたい。そして、もう一度日本一になりたい」と気を引き締めた表情で意気込みを語ります。新たな挑戦に向かって高校バレー界で輝きを放つ若きアスリートは、最強のチームメイトと共に今日も汗を流します。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

俳句

- | | |
|---------------------|-------|
| 谷郷 | 大谷 峯生 |
| 春風や跳ねる仔馬の眩しかり | |
| 荒木 | 藤田 栄之 |
| 春炬燵やがて一人となる二人 | |
| 須加 | 原 ちか子 |
| ほろ苦き思い出遙かふきのとう | |
| 南河原 | 今村 文女 |
| 春炬燵歳月刻む顔二つ | |
| 持田 | 田子 敏枝 |
| 春愁や見えざるものが見えにけり | |
| 酒巻 | 風間ちま子 |
| 正座して箏(びん)奏(そう)で春を呼ぶ | |
| 荒木 | 手島 一海 |
| 一枝の桜を胸に友の逝く | |
| 富士見町 | 鈴木スイ子 |
| 潮騒と空の青さと金盞花 | |
| 下中条 | 梶原 銃司 |
| いく度も離つくるひ飾り継ぐ | |
| 城西 | 鈴木 正夫 |
| 放流の旅する稚魚に風光る | |
| 渡柳 | 川田 静江 |
| 春浅し背中に踊るランドセル | |
| 荒木 | 森田 静 |
| 野に街にやさしくそそぐ春の月 | |
| 富士見町 | 森 節子 |
| ひなかがり高二の孫の照れ笑い | |
| 矢場 | 高田みつ子 |
| 枝衝(えだづ)へ思案の鳩や辛夷の芽 | |
| 佐間 | 須永 節子 |
| 話し好き帰りしあとの余寒かな | |
| 長野 | 野中せき子 |
| 夜もすがら暖房の首風の音 | |
| 荒木 | 小林 康男 |
| 良寛は子等と戯る春の雪 | |
| 持田 | 小倉 繁三 |
| 再検の数値下がれと祈る春 | |
| 持田 | 丸山 麟一 |
| ほめられて一気にやる気木の芽吹く | |
| 城南 | 橋本千枝子 |
| 連山に夕日浮かせて日脚伸ぶ | |
| (三沢 一水 監修) | |

平成27年6月生まれのお子さんを募集します

○4月1日(金)～28日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、5月6日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成27年4月生まれのおともだち ★★★



鈴木 永叶ちゃん
平成27年4月3日生まれ
父・浩介さん 母・沙梨さん
「世界一、可愛いおとぼけ顔!」



小林 侑愛ちゃん(長野)
平成27年4月8日生まれ
父・巧さん 母・理都さん
「元気に育つてね!」



藤間 千翔ちゃん(谷郷)
平成27年4月20日生まれ
父・浩之さん 母・有紀さん
「人に優しい子になってね☆」



中村 奏ちゃん(若小玉)
平成27年4月11日生まれ
父・玄さん 母・由布子さん
「いつまでも笑顔の天才で!」



内田 旺佑ちゃん(長野)
平成27年4月27日生まれ
父・昌宏さん 母・千晶さん
「元気で大きくなってね!」



野村 来羽ちゃん(城西)
平成27年4月17日生まれ
父・亮介さん 母・彩佳さん
「明るく元気な子になってね♡」

ぎょうだの会社を グローバルアップ!!

有限会社 山海物産

お客様のニーズに合わせて事業を展開



会社プロフィール

代表取締役 木島 圭介
【事業内容】 乾物卸売小売業、慶弔贈答品卸売小売業、葬祭事業
【住所】 小敷田381-7

有限会社山海物産は、主にお茶やノリの仕入れと卸売小売を行う乾物問屋として昭和48年に創業しました。品質にこだわりを持っている同社では、長年の取引で築き上げた独自のルートで商品を仕入れていきます。代表取締役の木島圭介さんは「お茶は、主に静岡産のものを扱っています。独自の製法で、のどごしに清涼感があるのが特徴です。うちのお茶を気に入ってくれている方も多いですよ」と説明してくれました。また、ノリもその年の出来の良い産地の情報を収集し、仕入れるそうです。そんなこだわりの品を市内外の飲食店やスーパー、百貨店に卸しており、特に業務用ノリを大量に提供している飲食店からは、その品質の高さが評価されています。

また、仕入れの腕を見込まれた同社は、取引先の百貨店から依頼を受け、30年程前から香典返しなど葬儀の返礼品も取り扱うようになりました。その後、堅実な仕事ぶりを聞きつけた近隣の葬儀会社から納品の依頼が、最近

は、定番のお茶やノリに加え、洋菓子やお茶漬け、缶詰など客の好みやニーズに合わせて、さまざまな返礼品を用意しているそうです。

近年では、葬儀の規模が縮小傾向にあり、返礼品の需要も減少傾向になっています。そこで「シンプルでも感動葬儀」をコンセプトに、行田市斎場を利用して、これまで培った知識や経験を生かした葬儀施行も手掛けるように。最初は知り合い中心だった利用者も少しずつ増えていて、自社管理製造の返礼品の提供や供花物の手配、印刷物の作成など、きめ細かい対応とリーズナブルな価格が好評だそうです。

今後について木島さんは「これまでお客様とのニーズに合わせて、柔軟に業態を変えてきました。積み重ねてきた実績を生かし、さらなる顧客満足を目指していければと思っています」と語ります。常に、客の目線に立つことを忘れない同社。今後、どのようなサービスを展開していくのかが目が離せません。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。